



一級建築士 西田 恭子

(三井のリフォーム 住生活研究所 所長)

## ホームシアターのある暮らし

### ホームシアターが今、静かなブームに

圧倒的な迫力あふれる大画面、臨場感に優れたサラウンド。好きな時間に好きなだけ映画の世界に浸れるホームシアターを自宅に設けるリフォームが今、静かなブームとなっています。ただ、誰にも気兼ねなく好きな世界に浸るためには、それなりの設備と、隣家や家族への配慮も重要です。

そこで各種こだわりのホームシアター空間を実現するためのポイントを紹介します。

### シアター専用の部屋をつくる場合

ホームシアターに必要な機器は、主にスクリーンと映画を映すプロジェクター、スピーカーです。ただし、自宅で映画や音楽を本格的に楽しみたいならば、床や壁、天井などの内装も含め、防音や音響の設備をきちんと整える必要があります。とくに今は、配線関係が日進月歩で難しくなっています。そこで電気配線にも詳しい音づくりの専門家の協力をお願いします。

部屋1つを改造して本格的なシアタールームへとリフォームした場合は、お客様とリフォームプランナーと音の専門家の三者で相談すると、より満足度の高い、趣味性を追求したシアタールームを築けるでしょう。

なお、この場合は音漏れに関して、隣家だけでなく、家族への配慮としてホームシアター室から外へ音が逃げないようにするのも大切です。

### リビングをシアタールームに改装する場合

一方、そこまでこだわらなくても、大画面とサラウンドで映画を楽しめればいい、という方も多いと思います。また、マンション住まいなど面積に制限があり、部屋1つをシアタールーム専用にするほど広さに余裕がないケースもあるでしょう。

こうした方々には、リビングをシアターにする方法が人気です。

この場合、壁に向かってソファを置くなど、スクリーンの位置によって、家具の置く場所が少々変則的になることもあります。

なお、今は大画面のテレビが普通になっていますから、せっかくスクリーンを設置するならば、100インチ以上にしたいもの。そのくらいの大きさがあってはじめて、スクリーンのよさはでてくるでしょう。

### 寝室、和室等の場合もありえる

ちなみに最近、私自身がいいなと思うのは、「寝室をシアタールーム」にするリフォーム。お気に入りのベッドに寝転びながら好きな世界にとことん浸る。そんな贅沢な時間を過ごしてみたい、と思うのです。

そのほかにも「和室にホームシアターを設置」した例は、お客様と家族と一緒に、また一人で畳にゴロンと寝転んで映画を楽しむのも嬉しいものです。あるいは、キッチンで作業をしながら映画を観られる設えもあるかもしれません。

なんだかハードルが高そうなサラウンドを楽しむ生活も、工夫しだいでは音楽や映像を生活に取り込むことができるのではないのでしょうか。

